

# 課題研究 公開発表会

10件の発表のうち、6つを紹介します。

課題研究とは…

「課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。」

ことを目的として  
「探求活動」を行っています。



羽工の若竹くん

## 1 機械システム科・電気科 専門高校等における産学連携人材育成事業 環境に配慮した小型電気自動車製作プロジェクト

機械システム科と電気科で協力して、人を乗せて動く小型電気自動車の製作を行いました。乗り降りしやすく、燃費性の良い小型電気自動車が完成しました。

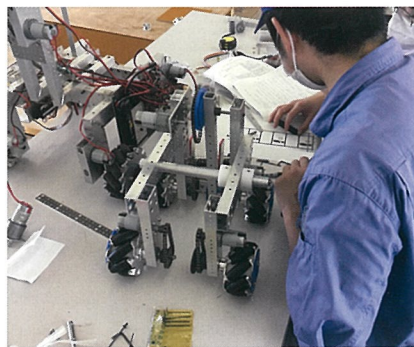


【感想】

産学連携を通して様々な方々と関わることができました。また溶接技術の向上や設計、製作を通じて専門知識が深まりました。燃費向上を目指すことで環境への意識が強くなりました。普段同じ学校で学んでいる他学科の生徒と協力することで、それぞれの勉強内容が理解できました。

## 2 機械システム科 高等学校ロボット競技大会 ロボット製作

全国高等学校ロボット競技大会に出場したロボット製作についての発表です。全国から92チームが参加していて、私たちはその中で67位でした。残念ながら上位32チームには残れませんでした。全国大会の目標として設定した点数に近づけることができました。

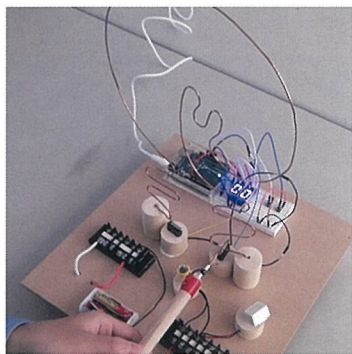


【感想】

初めてのロボット製作で、苦勞したことがたくさんありましたが、仲間と助け合い全国大会まで行けたことはとても嬉しかったです。

## 3 電気科 イライラ棒の製作

電気科で学んだ知識を活かして、電気で楽しめるものは何か考え、「イライラ棒」を製作しました。ただ音が鳴るだけではなく、マイコンボード (Arduino) を使用し、時間を計ることができるようにしました。



【感想】

みんなで協力して、授業で学んだことを活かし、電子回路を用いた作品が製作できて良かったです。

羽咋市からトトロ型バス待合所の修繕の依頼を受けました。木材加工や、塗装など、今までに身に付けた知識と技術を活かし修繕しました。羽咋中学校の近くにあるバス停です。機会があれば見にいってみてください。



【感想】

将来の仕事につながる体験ができました。また、地域の方の期待に応えるため、緊張感をもって取り組みました。

## 4 トトロ型バス待合所の修繕 建設・デザイン科 建築コース

## 5 建設・デザイン科 土木コース レベル測量とドローン測量による 釜屋海岸の浸食調査



近年問題視されている海岸の浸食について、土木コースで学習したレベル測量とドローン測量による釜屋海岸の状況調査を行いました。

【感想】

レベル測量の実践的な活用と最新技術であるドローン測量に関する専門知識・技術が身に付きました。また、地域の海岸浸食の現状と自然環境などへの影響について考えるよい機会となりました。

## 6 建設・デザイン科 デザインコース パーソナルカラーを活かした ファッションデザインの提案

自分たちのパーソナルカラーについて学び、それぞれのカラーを活かしたアクセサリ作りと個人制作をしました。

【感想】

自分のパーソナルカラーを知ることで、これからの自分に合う色を身につける楽しみが増えました。ワンピースを制作するのは初めてで、失敗もあったけれど、完成した時は達成感を感じました。

